

金目エコだより

発行日 平成 28 年 8 月 1 日
 発行者 金目エコミュージアム広報委員会
 連絡先 平塚市立金目公民館内 ☎58-0101
<http://hiratsuka.johokyoju.net/area/kaname>

《 金目エコミュージアム 》に改称

委員長 米村康信

設立 10 年目を迎えた「エコミュージアム金目まるごと博物館」の平成 28 年度総会が、5 月 13 日、金目公民館 A 会議室で開催されました。

総会は次第により委員長挨拶、来賓挨拶、議長選出が行われた後、27 年度事業報告・会計報告および会計監査報告があり、続いて 28 年度の事業計画案・予算案について提示があり、議案に対してそれぞれ質疑応答が行われ、いずれも賛成多数で承認されました。また規約も改正され、本会の名称も「**金目エコミュージアム**」と改め、新たに「将来計画委員会」および「10 周年記念事業委員会」が発足して、今年度および次年度以降に向け新しい事業活動が始まりました。

金目の自然に親しみました！

平成 28 年 5 月 22 日（日）、好天に恵まれた親水公園で午前中「おはなしの会と自然観察会」が開かれました。金目公民館と金目エコミュージアム情報・イベント部会の共催で、金目・みずほの小学生 31 人と保護者 13 人が参加しました。金目の自然に親んでもらおうと催したものです。最初におはなしの会で自然を題材にしたお話や絵本を読んでもらい、そしてクイズラリーに挑戦です。各コーナーにはボランティアの金目中学校科学部の皆さんお姉さんが分かりやすい言葉でやさしく出題してくれました。



先生は中学生！

全問正解した子は「四葉のクローバー」探しです。それをパウチしてもらって、とてもごきげん。素敵な葉ができました。最後に全員「みどりの優秀賞」をもらい、みんなで楽しく金目の自然に親しみました。

（遠藤知克）

竹の子まつりに行ってきました！

堀之内在住 田中妙子

今年も竹の子まつりに行ってきました。昨年も参加して楽しかったので今年もこの日を楽しみにしていました。

お箸づくりは小刀を使って作ります。日頃小刀を使うことがないので親子共々真剣に取り組みました。金目エコミュージアムの方の丁寧なご指導のもと自分だけのオリジナルのお箸が出来上がりました。紙鉄砲、竹とんぼ、輪投げ、竹ぼっくりはスタッフの方が一つ一つ手作りしてくださり、ふだんこのような遊びをしない子ども達が夢中になって遊んでいました。紙鉄砲は、ポンッと音が鳴るのが気持ちよく、親の私も夢中になって一緒に遊びました。

金目産のお米と竹の子で作ったという筍ごはんはとておいしかったです。竹の器と自分で作った竹のお箸は竹のかおりがして食欲も増し、子ども達もたくさんおかわりをしておいしくいただきました。おいしい筍ごはん、漬け物、煮豆など作っていただいたみなさまありがとうございました。そしてごちそうさまでした。



美味しかったよ！

地名シリーズ⑫

広川 ^{マツバ}松葉

マツ（松、末）とバ（場、葉）を重ねた地名にて、マツは①縁起の良い松の植生による意と、②末ハマツで地形の末端、先端、端の意でもある。③人と待ち合わせの「待場」との説もある。バは場、葉、庭の意味にて、ある場所をいう意と、ハで端の濁音化で地

形「端・先端」の意とも考えられます。事実当地は、千須谷、片岡の台地が傾斜して落ち込んだ谷戸や窪地の先端の地形にあります。同じ地名は市内では、公所、岡崎、北金目（みずほ小学校周辺ハ松場）にあり、いずれも交流の盛んな道路があります。（柳川勝正）

広川の南部で公所との境にある地形地名

歴史は輝く① 露木覚 一金目のお医者様一

歴史・文化部会 鷺尾昭夫



若き日の露木覚

時は明治の前期、日本が近代国家成立の歩みを加速させていたころのある日、淘綾(ゆるぎ)郡山下村(現平塚市山下)を出て、一人東京をめざしひたむきに歩く少年がいました。身の丈5尺(約150cm)、一見ほっそりして弱々しく見えたが、足取りは確かである。名は露木覚(カク)、慶応2年(1866)市内山下に露木次郎左衛門の3男として出生、同地で育った。覚の勉強への精進ぶりは底なしで、露木家の語り草として今に伝わり、机に向かって座った畳がへこんで色が変色したといわれている。(子供・孫)

根気強く、研究心に富み、目的達成に努力するわが子に、この子ならきっとやり遂げるに違いないという直感があったのかもしれない。

母は、覚に医学への道を勧めた。17歳、覚は医師を志して上京、済生学舎その他にて修行。明治21年(1888)後期試験に合格して免許を取得した。

初め、群馬県下で開業したが2年ほどして帰郷し、当時明治の文化村といわれた金目において露木医院を創設し、その初代院長となった。やがて、覚はいやおうなしに、秋山博(1863年 出生 覚の3年先輩)を知ることとなる。≪秋山博は晩年、平塚の福祉の父と称せられ、診断の確かさと鍼(はり)の技術が高く、尊敬と信頼をあつめ、口伝えに「金目に秋山あり」と言われたという。≫

1910年、秋山氏の人望と多くの支援者の努力がみのり、学校が設立・開校されたが、覚は開校以来ずっと無給で協力し続けたという。(平塚盲学校 校誌)

身をけずり 人に尽くさん すりこぎの その味知れる 人ぞ尊し(道元禅師)

結びにかえて、3誌(広報ひらつか・平塚市誌・タウンニュース)により報道された内容となるが、覚氏の功績を列挙する。

①北里柴三郎(細菌学者)の指導を得て、院内に細菌研究所を創設し実験用の馬・羊・モルモットを飼育して実験に励み、明治30年(1897)10月、患者の便から赤痢菌を発見し、北里博士に報告した。この報告は、世界的偉業と知られる志賀潔の赤痢菌(志賀菌)の発見よりも2ヶ月前のことだった。覚の標本は志賀にも送られ、全く同じ型の赤痢菌であることが確認されている。

②覚は、この後ジフテリアと取組み、同37年(1904)には血清の製造を開始し、以来、北里研究所や地方の開業医にこれを提供していた。

③市内に創設された日本爆発物製造会社が大正8年(1919)日本海軍に買収されて海軍火薬廠となり、医務部が創設されると、その要請によって研究資材を使用させ、医務部の充実に役立てた。

④昭和21年(1946)81歳でこの世を去るが、それまでの間、来診・往診に答え、さらに中郡立農学校、中郡盲人学校、金目・岡崎・吉沢小学校の校医を兼ね、医療機関の乏しかった当時、地方の人々の医療に終生を捧げた。墓所は、生家(山下393-1)。

「とっておきの金目」写真展開催!



今年も「とっておきの金目」写真展にたくさんのご応募ありがとうございました。金目の自然や行事など風景や季節の彩りを感じさせる力作30点を金目公民館ロビーにて展示しました。金目に住んでいながら、「えっ、ここが金目?」と見直されるかも。来年も募集しますので、ふるってご応募下さい。(富樫正一)

編集後記

今年の夏は猛暑との予報ですね。この原因は南米沖の海面水温が低くなる「ラニーニャ現象」によるものだとのことです。熱中症対策には万全を期して無事に夏を乗り切りましょう。

現在、金目エコでは70名近くの会員が4部会(産業・自然・景観・情報・イベント、歴史・文化)に分かれ金目のまちづくりに日々活動をしています。金目エコに興味のある方や一緒に活動したいと思われる方は、金目公民館☎58-0101までお問い合わせ下さい。お待ちしております。(片倉徳広)

金目エコだより

発行日 平成 28 年 12 月 20 日
 発行者 金目エコミュージアム広報委員会
 連絡先 平塚市立金目公民館内 ☎58-0101
<http://hiratsuka.iohokyoyu.net/area/kaname>

金目エコ 10 周年記念「ぶらり歴史探訪」

ガイドボランティアの会 三木和俊

11 月 20 日(日)、「ぶらり歴史探訪」が実施されました。前日と違い澄みわたる晴天の下、21 名の参加があり、19 名のスタッフが 9 カ所のサテライトを担当しました。

最初は坂東第 7 番札所の**金目観音**。堂内の室町時代のくぎを使わない「太瓶束」の造りに参加者の多くは感心していました。仁王門の金剛力士像ではどちらが「阿」「吽」なのか興味深く確かめていました。

第 2 は御所様堤と金目川。堤の由来と金目川の源流の**春嶽山**の位置を確かめました。



参加者全員で記念撮影
(金目観音にて)



人気一番「花の寺」不動院

第 3 は親水公園。ここではドングリなどの自然観察、ホタルの一生について模型を使っての説明が好評だったと思います。

第 4 は北金目神社。本殿は**覆殿**内部で、市内唯一の春日造りを拝見することができました。

第 5 は**不動院**。宝篋印塔一基が「筆子塚」であることで、寺子屋の普及と「教育の金目」の礎になったことの説明がありました。実は参加者によるアンケート結果では一番印象に残ったサテライトです。

第 6 は塚越古墳公園。前方後方墳で県内最大規模。墳頂部分に立つと周りがよく眺望できて、支配者が何を思っていたのか考えさせられます。

第 7 は真田・北金目遺跡。道路上での説明でしたが、パネルによって遺跡の広さやおにぎり状炭化米の発見について理解を深めました。

第 8 は**天徳寺**。「真田与一保存会」による武者姿が何よりも印象的でした。与一家臣の 37 代目の陶山さんによる与一と石橋山の戦いの解説は詳細でした。

最後は真田神社。花崗岩の鳥居を今の大阪からどのように運んだかが想像されました。今回の参加者はメモを取ったり質問などがあり、歴史好きの方が多かったように思えます。また、金目に住んでいてもこんなに素晴らしいところがあるとは知らなかったとの感想がありました。小学 1 年生が祖母と一緒に探訪して雰囲気や和み、本当に充実した一日でした。来年は南方コースを予定しています。なおこの模様は湘南ケーブルネットワークで放映されました。



真田与一(左)と陶山文三
(石橋山の戦い)

金目エコ 10 周年記念「金目ふるさと検定」 3 名が 2 級に合格！

金目エコ検定委員 添田吉則



解説を熱心に聞く受検者

12 月 4 日に「金目ふるさと検定(2 級)」が実施され、3 名が受検。去る 11 月 20 日の「ぶらり歴史探訪」に参加された方です。

はじめに池田検定委員長から「今回のツアーに関連して今日の検定を行うことになりました。昨年横浜の人が合格されており、今日合格されると第 2 号認定となります。4 択で 40 問あり、80%以上正解されると合格認定証を授与させていただきます。」と挨拶があった。

30 分間の試験に一生懸命取り組み、全員が 90%以上の出来で、見事に合格されました。不正解だったマテバシイ、金目川の川筋、お腹籠りの観音様等について検定委員から詳細な解説があり、次から次へと熱心な質問が続きました。

受検者からは「歴史や自然の探求をすると夢が膨らみますね。」とか、「久しぶりの散策や検定の体験が出来、嬉しく思いました。」などの声が聞かれました。お土産に、10 周年記念の栞やキッズ版写真カードセットやエコ発刊のパンフレットなどを差し上げました。

今年も秋晴れ！収穫祭！太鼓が響く！

11月6日、金目ふれあい広場で第10回目の収穫祭が開かれました。秋晴れの下、フリーマーケットの出店数も15と多くの参加がありとても盛況でした。新鮮な野菜やアクセサリーやおもちゃなど、いろいろなものが販売されていました。昔の遊びのけん玉や竹とんぼ、シャボン玉のコーナーでは親子で楽しんでいました。10時の開会宣言の後、ダンスが披露されました。長寿会、ブラックス、演舞（名物男の與野さん）、ストリートダンスなど様々です。11時より昨年からはまった「金目ふるさと検定」をもとにした〇×クイズが行われました。



6地区対抗の太鼓競演

第1問の「金目で栽培されている米の品種はコシヒカリ」（正解×）は全員正解。第8問「親水公園のゲンジボタルは、6月に一番多く飛びまわる」（正解×）は4人のみ正解。実は他と違い5月です。そのため敗者復活戦を行い、13問目で終了しました。

12時頃より豚汁と新米が無料で振る舞われ、百人以上の長蛇の列ができました。主催者側としてはうれしい悲鳴です。12時半頃より約1時間太鼓競演が行われました。堀之内、川前、中久保、北久保、片岡、青柳の六地区が制限時間内で独自にたたいて響きわたり、ギャラリーもできていました。最後に大抽選会が開かれ、当選者にキヌヒカリとフリーマーケット出店者から副賞がプレゼントされました。本当にご協力ありがとうございました。下記に参加者の感想を添えます。（広報委員 三木和俊）

「収穫祭に参加して、ご飯と豚汁をいただきました。豚汁は具たくさんで美味しく、身体がぽかぽかと温かくなりました。ご飯は金目でとれた新米だったそうです。生まれ育った地で穫れたお米は、一段と美味しく感じました。私は堀之内の太鼓演奏にも参加しました。去年より地区が増えたので、よりにぎやかになり、楽しかったです。来年も楽しみにしています。」
金目小6年 小松美唯

とっても楽しかったどんぐり工作

金目エコミュージアムと金目公民館の共催による「どんぐり工作」が、11月23日、金目公民館集会室で開催されました。9時45分の受付前から、ほとんどの小学生が集まり、今日は何を作ろうかな？と用意してあるどんぐりや間伐材、参考作品や写真を熱心に見て構想を練っていました。

10時から金目エコミュージアム米村会長より、クヌギ、マテバシイ、コナラなどの「どんぐり」についての説明があり、そして「どんぐり工作」に移りました。



【左写真】「どんぐりマウスのやじろべえ」（頭はマテバシイ、耳はアラカシの殻斗（かくと）、しっぽはエノコログサ）金目小学校4年生の作品です。「やじろべえがうまく立たなかった。重り（左右の腕）がくっつかなくて、むずかしかった」と感想を言ってくれました。このマウスの顔は、「うまくできたよ！ うふふ」と言っているようです。

平成22年から始まった「どんぐり工作」は今年で7年目になります。今回は金目小学校とみずほ小学校から23名、幼児3名、それに保護者14名（うち父親2名）、計40名が参加しました。公民館運営委員の皆さんが、子どもたちと同時進行で製作した紙の「手提げ袋」にどんぐりマウス、どんぐりトトロなど、「自分だけの宝物」を入れて持ち帰りました。また来年小学生と保護者の方、皆さんの参加をお待ちしています。（広報委員 遠藤知克）



編集後記

金目エコミュージアム10周年記念と銘打って、「ぶらり歴史探訪」と「金目ふるさと検定」（2級）を実施しましたが、来年もまた「桜まつり」を始めいろいろなイベントを企画しますので奮ってご参加下さい。一年間ありがとうございました。良いお年を！（片倉徳広）

金目エコだより

発行日 平成29年8月1日
 発行者 金目エコミュージアム広報委員会
 連絡先 平塚市立金目公民館内 ☎58-0101
<http://hiratsuka.johokoyou.net/area/kaname>

金目エコミュージアムは平成19年6月1日に設立して丸10年が経ちました。これも地域の皆様方の金目エコのへご理解とご協力、また平塚市社会教育課のご支援、更にエコ会員の熱い思いに支えられて来た関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。平成29年度の役員も決まりました。金目エコは10年、20年先の大きな目標があります。役員・会員一同、地域の皆様とともに更に発展・進化していきたいと考えております。今後ご協力を頂きたく、宜しくお願い申し上げます。
 (会長 米村康信)

平成29年度役員紹介

平成29年5月19日、金目公民館集会室で平成29年度定期総会が開催され、以下の役員が決まりました。今後ご協力を宜しくお願い致します。



会長 米村康信
 (兼情報・イベント部会長)
 (大久保在住)



副会長 秋山博
 (兼歴史・文化部会長)
 (片岡在住)



自然・景観部会長 柳川三郎
 (青柳在住)



産業部会長 中村正賢
 (根下在住)

ガイドボランティアの会会長 小宮和高 (大久保在住)
 広報委員会委員長 片倉徳広 (広川在住)

《10周年記念事業関係のお知らせ》

金目エコミュージアム設立10周年に伴う記念式典およびパネル・冊子等の展示が下記の日程で開催されます。

記

《記念式典》

日 時 平成29年8月27日(日) 10:00~12:30
 会 場 平塚市中央公民館 4階小ホール (平塚市追分 1-20)
 主 催 平塚市教育委員会
 主 管 金目エコミュージアム
 参 加 自由

《金目エコ10年間の歩みーパネル展示ー》

日 時 平成29年8月21日(月)~8月31日(木) (閉庁日は閉展)
 場 所 平塚市役所1階多目的スペース

パネル展示 冊子展示の会場は自由に見学できます。是非、ご来場ください。

問い合わせ 社会教育課 (電話) 0463-35-8124

金目エコミュージアム10周年記念担当: 小宮 (携帯) 090-6125-3765

秋山博墓前祭



福祉作文最優秀賞表彰

3月20日(月)10時より「秋山博墓前祭」が寂静寺で行われました。今年
は百回忌。先生の遺徳を偲んで例年以上に多くの方が参列しました。大久保
住職による読経の後、落合平塚市長の来賓挨拶に始まり、ガイドボランティ
アの会による先生の業績の紹介が行われました。社協の依頼で例年実施され
ている金目・みずほ小学校、金目・金旭中学校の「福祉作文」の中で、最優
秀・優秀賞4名の表彰と本人による朗読がありました。

自分の家族や福祉体験に基づくレベルの高い内容でした。「福祉のまち平
塚・金目」にふさわしいもので、今後の継続性が改めて望まれました。また、
金目公民館1階ロビーでは18日～20日まで「秋山博資料展」が行われ、
市外からも見学に来ていました。来年以降地元だけでなく多くの方に認知度が高まる
ように努めたいと思います。
(広報委員 三木和俊)

春の自然観察会

金目エコミュージアムは、金目親水公園で好天に恵まれた平成29年
5月20日(土)、金目公民館と共催で「おはなしの会」および「自然観察
会」を開催しました。

金目小・みずほ小の児童24名と園児・未就園児2名の計26名が参加、
9時半から園内の木陰で始まった「おはなしの会」は、自然を満喫しなが
らの読み聞かせでした。10時10分からの自然観察会では、金目中学校
科学部員のボランティア協力によりエコ会員と一緒に出来て出題を担当し
てもらいました。当園内の9カ所で見られた各問題に対し五感をつかいな
がら回答しました。

早く終わった人から、「四つ葉のクローバー」探しです。見つけた人は記念
にパウチをしてもらい、参加者全員はめでたく全問正解になり、「みどりの優
秀賞」をもらって、自然の素晴らしさや大切さを学んで帰りました。



日陰で閉会式
「暑い中お疲れ様でした！」

(広報委員 遠藤知克)

星が落ちるー星が垂れるー星垂るーほたる観察会

親水公園ホタル保存会 米村康信

金目エコミュージアムは金目公民館と南原公民館の共催で、5月14日(日)に「ホタル観察会」を実施しま
した。参加者は金目小、みずほ小、南原小の児童と保護者
48名でした。

当日は、みずほ小学校の体育館に集まり、会場で展示さ
れた実物のホタルの幼虫を見て怖がる子、足がこんなにた
くさんあるの？ (実はエラをみて)と尋ねる子など、子
ども達の反応は様々でしたが、きっと一生忘れない日にな
ったと思います。

またパワーポイントを使ってクイズ形式でホタルの一
生やホタルの棲む環境、ホタル観賞等の要点について解説
しました。疑問を持った子らはこの説明で幾らか理解した
ようです。

解説が終わると、金目親水公園まで皆で歩いて行き、周
りが暗くなるにつれて、草むらからゲンジボタルがゆらゆ
らと舞い上がり、また暗闇に点滅しながら飛び交う光景を午
後8時まで心ゆくまで観賞しました。



ゲンジボタルについて解説する金目エコ会員

竹の子まつり

設立10周年を迎えた金目エコミュージアムと金目公民館による「竹の子まつり」が今年も6月3日金目ふれあい広場で開催され、金目小、みずほ小の親子112名が参加しました。



美味しそ〜！ 早く食べた〜い！！

金目地区には以前はたくさんの竹林があり終戦前後に生まれた人は竹でいろんなものを作って遊んだ経験が有り、その経験を活かして地域の子どもたちにも遊び道具は出来るだけ自分で作って遊び、竹に親しんでもらおうと、6年前から始めました。

初めて切り出しナイフを使ったという参加者がほとんどでしたが、金目エコ会員の指導のもと怪我することなく自分の箸を作りました。

他にも竹馬、竹とんぼ、紙鉄砲、竹の輪投げなど親子共同で作って遊びました。保護者も子どもと一緒に結構楽しんでいるようでした。

全員の竹箸が作り終ると、金目公民館運営委員の皆さんに炊いていただいた筍ご飯はお代り続出、大好評、20キロのお米もあっという間に完食です。参加者全員で楽しい一日を過ごしました。(広報委員 猪俣俊和)

味噌づくりに今年も参加！

横浜市在住 小沢やす子

3月19日(日)金目公民館での味噌づくりに横浜から参加させていただきました。今年もお声をかけていただき、昨年に続いての参加で、見知った方々にご指導を仰ぎながら楽しく作業をいたしました。

産業部会の方が前日から準備をし、当日も朝から大豆を煮て下さいました。私たちは麴と塩をよく混ぜ、煮大豆をミンチ機に掛けて塩麴と混ぜて味噌玉を作り、空気が入らないように容器に叩きつけて出来上がりです。

今回はミンチ機が1台増えて作業はスムーズに進みました。野菜塾の方が作った大豆のお味噌は本当に美味しく、防腐剤や添加物のない安心安全なお味噌です。特に大粒の大豆は栗のような味わいで、昨年煮大豆を味見して以来すっかり虜になりました。

昨年のお味噌は初夏に待ち切れずにモロキューで頂きました。芳醇な味と香りで美味しく、味噌汁はもちろんですが、そのまま使ったり、タレやドレッシングにしたりと大事に大事に使っています。今年もきっと美味しくできるでしょう。ビールにモロキュー……。飲み過ぎに注意です。産業部会の方々がありがとうございました。



今年は秋までガマン(笑)

金目はつらつ学級で金目を解説

6月9日(金)10時より金目公民館2階集会室で「金目はつらつ学級」(主催:金目公民館)において「金目の素晴らしさ 再発見」というタイトルで教養講座が開かれました。

この講座は昨年度に引き続き2回目です。当日は、金目エコミュージアムのガイドボランティアの会々員7名が講師となって、①金目観音、②金目川、③金目親水公園、④北金目神社、⑤塚越古墳、⑥天徳寺・真田与一の6カ所の名所旧跡や金目の自然をパワーポイントや自作の模型を使ってわかり易く解説しました。

また与一の武者姿(柳川幸三氏)が突然現れるというサブライズもあり、一挙に和やかな雰囲気になりました。

参加者全員が金目の素晴らしさを再発見、再認識し、金目住民である事に誇りを持つことが出来たのではないのでしょうか。

(広報委員 片倉徳広)



与一突然現る！



スタートは金目観音

第10回金目桜まつり

桜まつり実行委員 野口四郎



会場は一日中大盛り上がり！

4月2日(日)第10回金目桜まつりが開催されました。

今年の桜まつりは、金目エコミュージアム発足10周年記念として規模を拡大、盛大にしようと会場を例年の“金目ふれあい広場”から“塚越古墳公園”に移し、金目エコ会員全員で取り組みました。



人 人 人の昼休み



フリマは人だかり

まつり当日は、落合平塚市長を初めとして市、地域、学校関係者など多数のご来賓のご出席をいただき、地域の沢山の人の参加で、金目エコの行事としては記録的な人出(参加者800人)で盛大に開催することが出来ました。

桜まつりの広報を全戸に配布し、催し物(演芸)への参加、フリーマーケット(フリマ)への出店を要請、地域の各種団体法人への協力、協賛の呼びかけを行いました。その結果、演芸は10団体、出演者総数120名の参加があり、フリマもこれまでの最多の30の出店があり盛況でした。

午前10時、金目エコ米村会長の挨拶の後、演芸の舞台が開幕しました。昼休みにはお楽しみの抽選会、地元3自治会による太鼓の競演を堪能しました。

演芸は、朗朗たる詩吟の響きに始まり、子供会、敬老会の人々のダンス、更に絶妙の手品、軽快なバンド演奏と次々と演技が続き、更に與野主計さんの名舞踊など司会者の名調子と相俟って観客は大盛り上がり、楽しい一時を過ごすことが出来ました。フリマの各店、焼き鳥、焼き芋の店には多くの長蛇の列が続いていました。

近隣地域の20を超える個人、団体からは尊い協賛を頂き、更に遠方よりの参加者の為の送迎車、駐車場の提供など多くの力強いご支援とご協力を頂きました。金目の多くの皆様のご協力が無事桜まつりを終え、帰りの人の“楽しかったネ”との声を聞く事が出来ました。

なお、この模様はSCN(湘南ケーブルネットワーク)で放映されました。



フラダンス(プリティキッズ)



七夕音頭(ラサンテ)



お馴染み與野さんの「俵屋玄蕃」

編集後記

冒頭にもありましたが、金目エコは満10歳を迎えました。昔は10年ひと昔と言われてきましたが、今や私の実感としては1年ひと昔です。1年前の金目の景色は来年どうなっているのでしょうか？

金目公民館ロビーでは8月31日(予定)まで《とっておきの金目 写真展》を開催しています。この1年間の金目地区で行われた行事や風景写真を募集したところ、32点の作品が金目地区内外から寄せられました。「これが金目だ！」との力作ばかりです。今まで知らなかった金目が1カ所で見られ、更にこれを見たら実際に現地に行ってみたくなると思います。是非金目公民館まで足を運んでいただければ幸いです。

また今年の収穫祭は11月5日(日)に桜まつり同様塚越古墳公園にて開催しますので是非見に来て下さい！(T.K)

金目エコだより

発行日 平成30年2月1日
 発行者 金目エコミュージアム広報委員会
 連絡先 平塚市立金目公民館内 ☎58-0101
<http://hiratsuka.ihokyoju.net/area/kaname>

金目エコミュージアム設立10周年記念式典開催！！

昨年8月27日（日）午前10時から2時間半にわたり、平塚市中央公民館4階小ホールにおいて平塚市教育委員会主催、金目エコミュージアム主管により金目エコ設立10周年記念式典が行われました。前半の部では小宮和高 実行委員長の開会挨拶に始まり、米村康信 金目エコ会長挨拶、落合克宏市長、山原栄一市議会議長の来賓挨拶に続き、功労者表彰（役員・部会）が行われ、受彰者を代表して渋谷精一様が謝辞を述べました。

功労者表彰（役員）

金目エコ会長	米村康信
金目エコ副会長	秋山 博
会 計	平井保二郎
監 査	渋谷精一
（部会）	
歴史・文化	柳川勝正
産 業	中村正賢
自然・景観	柳川三郎



謝辞を述べる渋谷精一様

後半の部では江 waters 仁東海大学准教授により「これからのエコミュージアム-人材育成を中心として-」についての講演、続いて、金目エコ10年の活動状況等を映像化したDVD-金目の自然と文化の事業活動を鑑賞、道村康博実行委員の金目エコの「今後の方向」-元気な金目・未来につなぐ-についての講話がありました。

最後に柳川三郎様の閉会の辞をもって厳かの中にも和やかに式典は終了しました。

なお、この模様はSCN 湘南ケーブルテレビ（情報カフェ！湘南館ワイド）にて放映されました。

また、式典に先立って、市役所1階多目的スペースにてパネル展示-金目エコ10年間の歩み-が8月21日～31日に行われ、金目公民館ロビーにおいても9～11月まで展示され多数のお客様が訪れました。

（広報委員）



功労者を囲んで！

10周年記念 第11回 金目エコミュージアム収穫祭開催！

収穫祭実行委員長 橋本 進

昨年11月5日(日)春の金目桜まつり同様に塚越古墳公園にて第11回収穫祭を開催しました。

10月から天候不順が続き、秋晴れの日がなく、各地において多くのイベントが中止になるという状況が続き、天候の不安がある中での準備作業でした。

作業は公園の広場にフリーマーケット出店者の車が乗り入れできるよう通行路の改修作業、舞台・控え室・テント等の設営等多岐にわたるものでした。

当日は、開会式の開始前に若干風が出てきたが、暫くすると風もおさまり晴天の中での開催でありました。



欲しいもの見つかったかな？



太鼓演奏

金目地区の芸達者達のパフォーマンスを始め、フリーマーケット(25店)の出店により、1時間ほど経過した時点では、会場は熱気があふれ、恒例の太鼓演奏や豚汁無料配布の開始時には来場者のピークとなり、行列が出来るほどでした。又、高齢者何でも相談コーナー・八重の風車教室・子供遊びコーナー等は、かなりの人で賑わっていました。来場者数は700~800名と推計されました。

地域の方々との交流の場としてのイベントの開催には、主催者側として魅力ある内容を計画・宣伝・実施することを心がけ準備する必要性を痛感しました。準備に携わった役員の方々や来場下さった皆さんには感謝いたします。

ぶらり歴史探訪 ー自由民権の里めぐりと金目最高地からの展望ー

ガイドボランティアの会

金目エコミュージアム(ガイドボランティアの会)主催「ぶらり歴史探訪」が、昨年11月26日、8時半より雪を被った富士山がはっきりと観られる行楽日和の下で行なわれました。4回目の今年は金目川の南方コース、参加者は13名でした。

ガイドコースは金目観音に集合、本堂を拝観⇒キリスト教共同墓地⇒金目の最高地点天子嶺⇒千須谷の出羽三山供養塔⇒寂静寺⇒平塚最初のキリスト教会 金目伝道所⇒宗信寺⇒法伝寺⇒金目公民館(休憩・10周年記念DVD映写鑑賞)の約4時間のコースで行われました。

参加された方々は金目の歴史・文化・自然景観の素晴らしさを十分に感じられ、次回も是非参加したいとのご意見等がありました。



富士山がきれいでした！

金目ふるさと検定 親子で合格！

金目ふるさと検定委員長 池田 弘



お見事合格！

昨年12月3日(日)金目公民館にて「金目ふるさと検定」が実施されました。受検者は小学校5年生の樋口龍健くんとお母さん(久美子さん)です。

問題は、「金目ふるさと検定」からの問題集と前週行われた「ぶらり歴史探訪」のガイド資料から出題されましたが、樋口君はお母さんと一緒に事前に勉強していたので、見事「3級検定」に合格し、「合格認定証」が授与されました。小学生としては初めてです。よく頑張ったので、副賞として「ふるさと歴史かるた」をもらいました。

またお母さんは「2級検定」(第5号)に合格しました。

お知らせ

春のイベントを開催します。ご参加をお待ちしています。

秋山博墓前祭	平成30年3月21日(春分の日)	10:00~	寂静寺(根下)
金目桜まつり	// 4月8日(日)	10:00~	金目ふれあい広場

金目エコだより

発行日 平成30年5月15日
 発行者 金目エコミュージアム広報委員会
 連絡先 平塚市立金目公民館内 ☎58-0101
<http://hiratsuka.johokyoyu.net/area/kaname>

第12回金目桜まつり

桜まつり実行委員 佐藤美智子

4月8日(日)朝から好天に恵まれ、第12回金目桜まつりが金目ふれあい広場で開催されました。会場では焼きそば、焼き鳥等の模擬店、野菜、衣料品、雑貨等のフリーマーケットが出店され、ステージでは詩吟、ダンス、バトントワリング等の演技や軽音楽の演奏が行われ、最後は抽選大会で大いに盛り上がりました。また、隣の金目観音では野点が行われ、両会場とも多くの方が来場されました。



市長も来場



フリーマーケット



エコ会員による桜の解説



ダンス (ラサンテ)



軽音楽バンド (アルパトロス)



舞踊 (與野主計)

金目川の流れとともに、何処からともなく聞こえて来る琴の調べ。音のする方へ足を運んでみると、観音さまの境内(光明寺)へ。久しぶりに天候に恵まれ、この場所で桜まつり・野点(のだて)が行われていました。

すみれ会・茶の湯グループの皆さんのご協力のもと、そして、東海大学教養学部の学生さんによる琴演奏。「美味しいお点前でした」、「素敵な演奏ですね」と普段、日常ではなかなか体験できないことを味わうことができました。一秒一秒が、ゆったりとした空間の中で刻み込まれて行ったようにも感じました。

桜の花は、残念ながらほとんど散っていましたが、バトントッチするかのように、目の前には青々とした若葉が元気いっぱい生い茂っていました。とっても清々しいきもちになった一日でした。



野点・琴演奏

外は冷たい雨 堂内は熱気あふれる！

3月21日、第16回「秋山博」墓前祭が根下の寂静寺で行われました。この日は前日と同様寒い雨の一日でした。にもかかわらず、昨年以上に参加者が多く100人を超えていました。

今年は没後百年という節目の年に当たり、記念事業として紙芝居「山なみ晴れて」が制作されました。

制作には「平塚てづくり紙芝居の会」(丸島隆雄会長)と金目中の渋谷智夏・渋谷藍花・武藤華愛さん3名の協力で完成しました。この紙芝居を「金目おはなしの会」の栗田さゆりさんが情感をこめてわかりやすく上演しました。今後紙芝居は、機会あるごとに地域で上演される予定です。来賓挨拶の中で平塚盲学校星野同窓会長が秋山博の功績は盲人に就労の機会を与えたことであると話されていたことが印象的でした。

福祉作文の表彰は以下の通りです。

最優秀賞 有海和奏(みずほ小4年) 多田幸菜(金目中2年)

優秀賞 石黒暢(みずほ小4年) 関舞穂(金目中2年) 石川貴義(金目中2年)

朗読は最優秀賞の方をお願いしました。有海さんの「今のわたしにできること」は、2年生の時の学級担任の先生が手話を教えてくれたことと、クラスに耳の不自由な友達がいたことがきっかけで、どのように接したらよいかなど体験したことを朗読されました。多田さんの「ありがとう」は、こども医療センターに行った時、聴覚障害の女の子に出逢い、手話や文字を書いて接した時の体験をもとにしています。女の子が最後に「ありがとう」と文字で表現して大変心温まるできごとになったことを朗読されました。雨で生憎外での線香を手向けることはできませんでしたが、内容の濃い墓前祭でした。SCNやタウンニュースのメディアも来て、関心の高さを感じました。また、18日から21日まで公民館で資料展が開かれ多くの方が見学されました。金目エコミュージアムは、今後この墓前祭をいかに金目以外にも広げ「秋山博先生」の遺徳を啓発することの大切さを感じました。

(三木和俊)



堂内は熱気ムンムン



作文朗読



紙芝居上演

サテライト探訪④

片岡神社の東照宮

ガイドボランティアの会 露木正己

片岡神社の境内には東照宮の石祠が2基あります。ひとつは新しく、昭和59年5月に再建されたものです。もう1基は古く、傷み具合から江戸時代の建立と考えられます。東照宮は、江戸幕府を開いた徳川家康を祭神とする神社で、日光の東照宮がよく知られています。

天正18年(1590)、家康は関東を領地として与えられました。そして、小田原から江戸に向かう途中、この付近で道案内をしたのが雷電社(現在の片岡神社)の神主、宮河丹後守家嗣です。家康は丹後守の家に立ち寄っています。そのとき家康が座った床几の跡にその没後、東照宮が建てられました。

文化7年(1810)、屋敷内に祭っているのは恐れ多いということで、雷電社の北山上に移し、石の祠を造営しました。古い方の東照宮は、このとき建立されたものかもしれません。家嗣の御子孫のお宅では、家康から拝領した葵の御紋が入った茶碗を今でも大切に保存しています。



昭和59年再建の東照宮

編集後記

金目エコ主催の春の2大イベント(金目桜まつり・秋山博墓前祭)も大勢の皆様方の参加で大いに盛り上がり、お蔭様で無事終えることができました。お礼申し上げます。

さて、金目エコでは現在、「とっておきの金目」—金目地区の風景や季節の彩り、各種行事、金目を感じさせる写真—を6月11日(月)まで募集しています。ぜひ、あなたの作品をお寄せ下さい。出品された作品は、後日、金目公民館のロビーに展示します。なお、応募要項は金目公民館に置いてあります。

問い合わせ先: 金目公民館 58-0101 又は 富樫 080-1043-2930 まで